

各委員からの意見

通番	ご意見
1	①P.36にある資金調達手段の確保の項目で、クラウドファンディングなどがあげられているが、この辺りはより具体的に区の文化・交流課が中心となって行うのかなどより突っ込んだ表現を求められるのではないかと。すでに北野生涯教育振興会様などから多大なるご支援を受けているのは事実で、更に協賛していただける団体などを探っていくことになるのだと思う。その辺をより具体的に表記できるのかどうか検討してほしい。
2	①P.10「その他の任意団体」はメグロアソビ冒険隊だけでいいのか？「主なその他の任意団体」ならまだ分かるが、目黒が後援している事業を行っている区内の団体は入れないのか？
3	①P.2「文化芸術基本法」内の「都道府県及び市町村の教育委員会」を「地方公共団体」にしてもいいのでは？ ②P.2「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」では条文などを引用して詳細に記載あるが、「文化芸術基本法」も同じくらい詳細に記載してもいいのでは？
4	①目次にあるページ番号の修正について、「第4章 芸術文化振興に向けた施策の推進」は、25ページではなく26ページになると思われる。 ②文化縁という言葉が初めて23ページに出てくるが、本プランの要であるため、下線を引いたり、字体を太くしたりなどして強調した方がよいのではないか。
5	①P.24に記載された「文化縁」の定義では、“人々の間に生まれる新しく豊かな交流、それを通じて形成される人々のつながり”とされており、「交流」や「協働」といった視点が盛り込まれている。一方で、そうした関係性が地域のなかでどのように生まれ、深まっていくのかというプロセスについては、やや抽象的な印象も受けた。例えば、協働を促す場やネットワークづくりの機会、関係をつなぎ支える人材の存在といった、“つながり”を育むために必要な要素が、理念の一端として簡潔に触れていると、「文化縁」の実現イメージがより具体的に伝わるのではないかと。 ②現状の骨子案では、文化芸術を「教育との連携対象」として位置づけており、子どもたちが芸術文化に触れる機会を広げていくという方向性は、今後ますます重要になると感じた。その上で、「教育のなかで文化芸術がどのような役割を果たしているか」という視点にも、今後の検討のなかで目を向けていけると、より多様で広がりのある展開が期待できるのではないかと。例えば、探究的な学びや協働的な学習との親和性、表現力や対話力の育成といった観点は、文化芸術の意義をより多面的に伝える上で重要な要素となり得ると思う。
6	①P.1 P.21 P.26 P.30「社会包摂」、「包摂」は一般的ではないので、括弧でくくるなどして初出のところで一度解説しておく方がよいように思う。 ②P.2 P.4「参酌」は一般的ではないと思うので、言い換え等ができるのであれば、その方がわかりやすいと思う。 ③P.6「(2)文化財」で、国指定重要文化財については「◎」等の表記をした方が親切。国宝「○」、重文「◎」、重要美術品「○」の記号がよく使われる。 ④P.6「第2章 現状と課題」の「(2)文化財」で、有形文化財については言及があるが、無形文化財については触れられていないので、個別に挙げるのは難しいと思うが、「区内には無形文化財の継承者も在住している」など、可能な範囲で触れるのはどうか。「文化縁」の考えにも繋がるように思う。 ⑤P.8「⑤めぐろオータムアート」で、「区内各地で楽しく芸術に触れあえる企画」とあるが、「区内各地で楽しく芸術に触れることのできる企画」はどうか。 ⑥P.10「(6)その他の任意団体」で、「目黒区美術館はじめとする」とあるが、「目黒区美術館をはじめとする」か。 ⑦P.15～16「2 芸術文化に関する意識調査結果」で、パーセントの後に「上り」「とどまり」という用語が使われているが、判断基準が明確でないのと、数値の評価をすることになるので、「○○%にのびました」ではなく「○○%でした」などの表現にした方が適切と思う。 ⑧P.16「5行目「体験の必要性が認識されています」は「体験の必要性が認識されていると考えられます」の方が適切と思う。 ⑨「⑦情報の入手方法と課題」で、「意見が多く寄せられており」とあるが、「多い」「少ない」の判断をしていますので、「意見が複数寄せられており」などの表現が適切と思う。同様に「⑧地域活動・文化縁に対する意識」のところでも「多く挙げられており」とあるので、「多く」の表現に工夫が必要と思う。 ⑩「⑨満足度と重要度のギャップ」のところで、「満足度」「重要度」について説明を加えておいた方がより分かりやすくなると思う。 ⑪P.17「(2)結果の概要」の「①鑑賞や活動の経験」で、「芸術文化に継続的に関わることのきっかけ」とあるが、「きっかけ」より「機会」が適切と思う。またその後に「示唆されます」とあるが、調査結果を示す表現としては曖昧な感じがするので「明らかとなりました」「読み取れます」等にした方がよいと思う。 ⑫P.19「○障害者関係団体」のところに「示唆」も、上記と同様の理由で用語を工夫した方がよいと思う。 ⑬P.19「○外国人関係団体」で、「単なる外国人個人へのアプローチにとどまらず、」とあるが、「単なる」は不要と思う。 ⑭P.30「ダイバーシティ」片仮名表記は、その用語に触れたことのない人は理解できないので、「多様性」等に言い換えるか、補足説明があると思う。 ⑮P.32 p.36「ICT」外国語の略称はその用語に触れたことのない人は理解できないので、「情報通信技術」等に言い換えるか、補足説明があると思う。
7	①P.21:包摂性・包摂的という用語は、少し難しいかもしれませんが。
8	①第2章の課題のあたりで美術館のことに触れてほしいと思う。 「中核文化施設である区立美術館のさらなる充実をめざす」というような文言が必要なのではないか。 具体的な手法をこの文化振興プランの中に記載するのは難しいと思いますので、抽象的な言い方で構わないが、今後とも区立美術館が「芸術に触れる機会の拡充」の中心的な施設であることは変わらないと考えられるため、ここでその重要性・必要性を再確認するのがいいと思う。あるいは、パーシモンホールと併記でも構わない。

9	<p>①「第2章 現状と課題>1 区の文化資源」の章、「(1)美術館等」は、施設を表していると思われるが、例えば、目黒区美術館やめぐろ歴史資料館に常設展示してある作品や資料・収蔵品の明記がどこにもないのが、気になる。「作品資料を含む」と明記するか、或いは、(2)文化財の後に、(3)作品資料収蔵品と新しい項目を加えるなどはいかがか。</p> <p>②「2 芸術文化に関する意識調査結果」「3 小学生・中学生アンケート」の章、パーセンテージだけでなく、グラフや表があった方がよりわかりやすいと思う。</p>
10	<p>①全体的にややスマートにした方が読みやすいのではないかと。現状(文化施設や取組の紹介)や調査結果は参考資料として最後に掲載し、振興プラン自体の位置づけ、振り返り、課題、新たな目標、施策と一連の流れで表記すると理解し易いと思う。</p> <p>第2章 現状と課題について</p> <p>1. 区の文化資源～4. 第1章で計画について記載している流れを考えると、次には5, 前計画の実績と評価 を示した方が理解し易いと感じる。</p> <p>②目黒区の芸術文化振興に対する理念をもう少し強調した方が良いと思う。</p> <p>第3章芸術文化振興プランの基本的な考え方 1. 将来像 2. 芸術文化振興の目的と「文化縁」の意義 の中に目黒区芸術文化振興条例の基本理念を表記することを提案。</p> <p>「4. 芸術文化に関わる団体へのヒアリング調査等」について</p> <p>③〇のカテゴリーをダイレクトに、・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団・文化団体連合会・芸術文化活動団体などの表記か、前回資料の「芸術文化に関連する団体に対するヒアリング結果 概要」の表内、「ヒアリング対象事業者」の方が分かりやすいと思う。</p> <p>④「(8)文化関連事業所等の立地状況」は、どちらに反映される資料か。</p> <p>⑤「(1)計画改定の経緯」内 9行目「癒し」→「安らぎ」。「癒し」より「安らぎ」ではいかがか。レジリエンスの支える力などコロナ禍を経た今日においては、芸術文化の持つ癒しや連帯の力、地域に根差した～</p> <p>⑥「6. 区の芸術文化を取り巻く課題」(1)芸術文化に触れる機会の拡充内と今回の目標1(P25)「日常的」→「くらしの中で」今回目指す身近なところでの芸術文化という意味でも、また生活や生きていくことの意味も含まれる(文化的な生活、権利など)「暮らし(くらし)」の方が伝わるのではと感じる。</p> <p>⑦「6. 区の芸術文化を取り巻く課題」(2) 誰もが必要な情報にアクセスできる仕組みや多層的～ 調査にもありました様に、「子ども」の表記を追記出来たらと思う。(子ども、大人誰もが)</p> <p>⑧「6. 区の芸術文化を取り巻く課題」(4)「まちなか」 まちなかで活動を行う団体→文化施設以外で活動する団体を指す表現としては分かりづらく又新しい目標のまちなかと少し意味合いが混同するのではないかと。「文化施設以外で活動を行う市民文化団体(文化団体)」ではどうか。</p> <p>⑨「6. 区の芸術文化を取り巻く課題」(5) 地域イベントの中に様々な体験→文化体験 ではどうか。</p> <p>⑩「3 芸術文化振興の目的」目標2 芸術文化活動の担い手をもう少し明確に記載すると良いと思います。芸術文化活動を行う市民や団体(芸術文化に関わる団体)の捉えでよいか？</p> <p>⑪もし、両方ともプレイヤーが属する団体という意味であれば課題にあげている、地域における文化活動の担い手、芸術文化活動団体(又は市民)の支援はどこに入るものか。</p> <p>⑫目標2とp26の基本目標2の表記の違いはあるか。</p>
11	<p>①改定の経緯の前に、目黒区の文化振興目的と文化縁はここに記載されていてもよいと思う。区民にも本プランが何を目的とするのが明確に伝わるように、冒頭には、当プランが目的とする文化芸術の大切さ等について説明が必要で、文化芸術振興条例の基本理念にも簡単に触れた上で、文化縁を大切にしながらこれまでも文化振興を図ってきたが、今回社会的情勢の変化に鑑み、文化縁の拡充を旨としてつ改定すると説明するほうがわかりやすい。</p> <p>②基本理念が何かを簡単に説明したほうが良いと思う。</p> <p>③少子高齢化やICTの活用、SDGSは触れなくてよいのか。</p> <p>④当時の長期計画を明記するなら、今期の長期計画(R4～)に触れてもいい。P4で、「芸術」文化の香りあふれるまちづくり」としているの、引用し、着実に文化縁の形成を図るためといった文言を前段で追加してはどうか。また、この後のページで長く記載している国や都の動向も踏まえて、みたいな簡単な文言も入れたほうが良い。</p> <p>⑤前回調査とほぼ同じ傾向か。異なる部分があれば、その点を、なければほぼ同じと記載したほうが良いと思う。</p> <p>⑥p22の5(2)の分析を踏まえての結論部分が(3)と思うので、ここが次につながる重要な部分と考えられるが、記載された事柄は、前段のどこに対応するのかわかりにくい。例えば、区民の主体的な活動支援ほどの分析をもとに導かれているのどうか。また、情報提供体制の強化は？多様な人々の参加促進はどこに基づいているか。(2)の記述をもとに整理すると、事業の重複？(目標1)、人材情報の整備(目標2)、関係部署やボランティア団体との連携、庁内外のネットワーク形成(目標3)が課題のように読めますが、この辺りは丁寧に記載したほうが良いのでは？</p>